

# 冬季における刺網による水深ごと目合いごとのオオクチバス捕獲状況

臼杵 崇広

## 1. 目的

これまで、冬季に大型のオオクチバス（以下、バスという。）を効率的に駆除する手法の一つとして大きい目合いの刺網について検討してきた。今年度は事業化に向けて、冬季の南湖西岸各地点における水深ごと目合いごとの刺網による大型バスの捕獲状況を調査した。

## 2. 方法

平成 26 年 1 月 14 日～16 日、2 月 3 日～17 日、2 月 24 日～26 日、3 月 17 日～23 日のうちそれぞれ 3 日間で南湖西岸 3 カ所の水深およそ 3m、4m、5m の各等深線上に 120mm、136mm、151mm の目合いの 1 枚網の刺網を各 4 把ずつ設置した。刺網は夕方設置し、翌朝回収した。捕獲したオオクチバスの体長、体重、GSI（生殖腺重量/体重×100）および胃内容物を調査した。

## 3. 結果

調査地点を図 1 に、各地点の水深ごと目合いごとの捕獲状況を図 2 に示した。

1 把あたりの捕獲重量は St.1 および St.2 で多く、St.3 では少なかった。また、どの地点でも水深 3m および 4m ラインで多く、水深 5m ラインでは少なかった。さらに、調査時期

が遅くなるほど少なくなる場合が多かったが、St.1 の 4m ラインや St.2 の 3m ラインのように 2 月中旬まで、St.2 の 4m ラインのように 2 月下旬まで比較的安定して捕獲される場合もあった。

1 地点における刺網 1 把あたりの最大捕獲重量は水深 3m ラインでは目合い 120mm で 3.7kg/把（1 把あたりの平均捕獲重量 1.5kg/把）、同 136mm で 4.5kg/把（同 1.6kg/把）、同 151mm で 2.6kg/把（同 1.1kg/把）であった。水深 4m ラインでは目合い 120mm で 2.6kg/把（同 1.2kg/把）、同 136mm で 4.8kg/把（同 2.3kg/把）、同 151mm で 2.1kg/把（同 0.9kg/把）であった。水深 5m ラインでは目合い 120mm で 1.4kg/把（同 0.5kg/把）、同 136mm で 2.5kg/把（同 0.5kg/把）、同 151mm で 2.0kg/把（同 0.3kg/把）であった。

以上のことから、調査地点のどの水深においても、この時期に最も効率的にバスを捕獲できる刺網の目合いは 136mm であることが明らかになった。しかし、繁殖抑制の観点からは親魚を幅広いサイズで駆除することが重要であり、一定量捕獲できる 120mm や 151mm の目合いも併せて操業することが求められる。



図 1 調査地点.

西岸側から順番に水深 3m、4m、5m のライン.

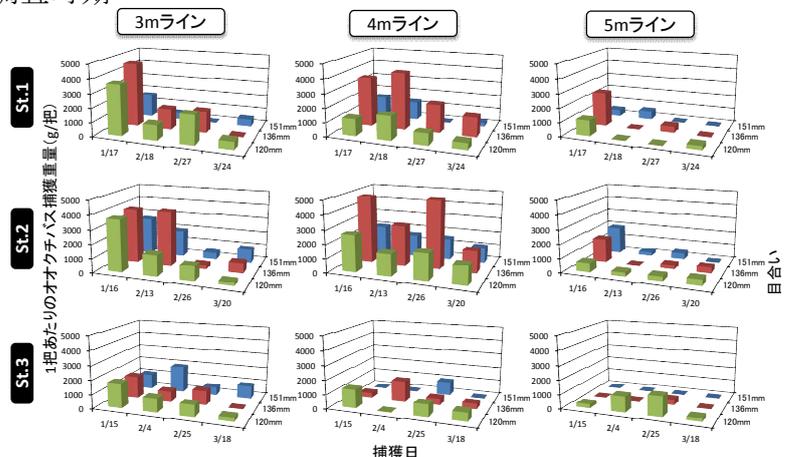


図 2 各地点の水深ごと目合いごとのオオクチバス捕獲状況